

## 第20期営業報告書

### 1 事業概要

#### (1) 当期の営業状況

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに、当社の第20期営業概況につきまして、ご報告申し上げます。

我が国の景気は、政策効果の発現や大手企業によるベースアップの実施などに加えて個人消費の回復傾向や都市部の地価上昇などが見られ、緩やかな回復傾向にあると言われてますが、中小企業の景況感足踏み状態が続いており、当社においても前期と同様の厳しい経営を余儀なくされたところです。

当期の営業面におきましては、経営基盤の安定を図るため、積極的な営業活動を実施するとともに、記念行事などの企画運營業務を請負など売上増に努めましたが、厳しい結果となりました。

また、番組編成面におきましては、番組内容に地域の新しい情報を反映させ、より魅力ある番組にするため、地域イベントなどへの取材を積極的に行い、番組内容の更なる充実とともに、地域との繋がり強化に努めてまいりました。

以上の結果、当期におきましては、番組・広告収入を中心に売上高は、前年比411万円減の5,839万円となりましたが、経費の節減などで当期純利益は、前年比49万円増の255万円を計上することができ、累積欠損金は1,421万円となりました。前期に続き単年度黒字を計上することができましたが、未だ累積赤字の解消に至らない財務状況でありますので、誠に申し訳ありませんが株主配当は、見送らせていただきます。

今後、安定した経営基盤の確立を目指し、組織・体制の改善強化を図るとともに、開局以来の課題でございました、市域南部及び東南部の難聴区域の解消に向けては、これまで長年、近畿総合通信局と協議を重ねてまいりましたが、このたび、老朽化した送信機の更新に合わせて、空中線の最大輻射方向を現行90度-270度から200度-20度への変更と、放送出力を10Wから20Wに増力することで、一定の改善効果が期待できると認められたため、来期中の完成を目指して協議を進めてまいります。

「届けます元気と安心、繋げます地域の絆」を活動目標として、行政情報をはじめコミュニティ情報、地域経済産業情報、観光情報など地域に密着した様々な情報の提供を通して、地域住民の皆さんの利便性と安全性の向上、地域経済の活性化あるいは文化の振興に寄与すべく、番組作りに努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては何卒ご賢察の上、今後とも一層のご指導とご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。